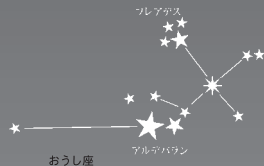


# ポラリスを仰ぐ北の大地から



北極星

## 黒田嘉和先生に感謝

寿都医師会 会長 **き どういん ひさつぐ 祁答院尚嗣**

昨年、岩内協会病院院長だった黒田先生が、退職されました。

2009年、神戸大学外科学講座教授を退官され、2011年から昨年12月まで10年以上にわたり、単身で来道し勤務されておりました。

神戸大学を退官された後、南米に外科指導に行く予定でしたが、2010年のチリの大地震で行けなくなったため、岩内町に来られたそうです。岩内協会病院に来られてからは、外科手術はもとより、当直も熟され、精力的に活動されておりました。寿都、島牧方面からの救急患者も常に受け入れてくださり、我々も非常に助けられました。

黒田先生と私の医局の教授が知り合いという縁もあり、水曜日の午後から手術にお手伝いを兼ねて参加させていただいておりました。

手術はPD、肝切の症例も多く、丁寧かつ的確で出血もほとんどなく、手術見学に来られる先生もいらっしゃいました。

また、術後必ず色鉛筆でスケッチをされていて、手術の詳細を描かれ大変見事なスケッチでした。そして返信にはスケッチが必ず添えられていました。

手術の後も当直をしながら術後管理をされておりました。

お酒も大好きで、何度か寿都医師会に来ていただいた後食事をしましたが、必ずビールをチェイサーがわりに赤ワインを飲まれていて、大変お酒も強く楽しい飲み会でした。

大学を退官され75歳まで単身北海道で当直も熟しながら、手術をされていた姿には頭が下がる思いです。57歳になる私など、まだまだやれると言われていたような感じで、常に刺激を与えられていました。やっとご家族のいる神戸に戻られて、少しは休まれてほしいと思いますが、先生のことでできっと休まずに仕事をされていることと思います。

長い間この南後志の医療を支えていただき、感謝の意を送ると共にこれからもお元気で活躍されることを願っております。

## 新型コロナワクチン接種後の抗体価について

余市医師会 会長 **こじま けんいち 小嶋 研一**

中国武漢市から発生した新型コロナ感染症は現在もおパニックが続く3年目になりました。昨年4月より一般医療関係者、高齢者にワクチン接種が始まり昨年未までに若年者も含め大多数の国民が2回接種を済ませております。今年の4月時点で3回目の接種も進んでおります。昨年3月より一般検査センターにて新型コロナ抗体IgG定量検査ができるようになりました。(アボット社製キット) カットオフ値は50AU/ml、安定した抗体価は4,160AU/ml以上とされています。このキットにて私自身と職員6名の抗体価を2回目接種1ヵ月後に測定してみました。また私は3ヵ月後、6ヵ月後に測定してみました。職員は30代、40代、50代の女性職員、20代、30代、70代の男性職員と60代の私の7名の抗体価を測定いたしました。30代女性7,540AU/ml (以下単位省略) 40代女性8,760、50代女性4,862、20代男性8,852、30代男性6,860、70代男性10,000、60代私3,842との結果でした。私以外は全て安定した抗体価でした。抗体獲得において負の因子として高齢者、免疫抑制剤使用者、副腎皮質ステロイド薬使用者、頻回飲酒者(私です)等が要因として挙げられています。私の3ヵ月後の抗体価2,886、6ヵ月後386とかなり抗体価低下を認めました。この時は早く3回目のワクチン追加接種を受けたいと思いました。年が明けて1月18日に3回目の接種を受けました。私は1、2回目のワクチン接種では副反応は何も認めませんでした。3回目接種1日後に全身倦怠感と接種した腕の疼痛を認めました。全身倦怠感2日目には改善しましたが腕の痛みは1ヵ月ほど続きました。3回目接種の1ヵ月後に抗体価を測定いたしましたところ私の抗体価は29,000また70代の男性職員は33,000との結果で大変高いブースター接種効果を認めました。おそらく他の職員も同様に高い抗体価を得られたと思います。今後は8月頃抗体価を測定しようかと思います。

